

令和7年7月15日
伊集院高等学校

令和7年度 第1回学校関係者評価委員会 報告

1 日 時 令和7年7月10日(木) 13:45～15:35(110分)

2 場 所 本校会議室

3 日 程 委嘱状交付

- (1) 開会のことば(教頭)
- (2) 開会のあいさつ(校長)
- (3) 出席者紹介(教頭)
- (4) 学校関係者評価委員会について(教頭)
- (5) 本校の概要説明
 - ア 学校経営の基本方針(校長)
 - イ 各部から(教務・生徒育成・キャリア育成・保健部の各主任)
 - ウ 各学年から(各学年主任)
- (6) 質疑応答及び委員からの提言等
- (7) 閉会のことば(教頭)

4 出席者

外部評価委員 4名, 本校評価委員 10名 計14名

5 質疑応答及び委員からの提言等

(委員B)

全学年で鹿児島市内の中学校からの生徒数が約4割とのことである。学校の魅力を地元の中学校だけでなく鹿児島市内の中学校にも積極的に発信し, 入学者が1人でも増えるような手立てを考えてほしい。

(委員A)

定期考査を廃止し単元テストを行っているとのことであるが, 生徒・保護者に対して成績や評価をどのように示しているのか。

(キャリア育成部主任)

年間で実力考査4回, 模擬試験3回, 通知表2回, 合計9回は示している。

(委員A)

健康診断後の受診率が低迷している原因は何か。また、受診率の向上を図るため、何か取り組んでいることはあるか。

(保健部主任)

過去に生徒向けアンケートを実施した結果として、保護者同伴でないと受診しないことや部活動が忙しいなどの理由があがっていた。受診が必要な生徒へは、治療のお知らせの回数を増やし、PTA 総会など利用し、保護者に直接「治療のお知らせ」を配付し、放課後や休日などを利用して受診するよう指導している。また、歯の健康講話の必要性など学校歯科医からいただけるような手立てが必要と感じる。

(委員D)

民生委員は小中学校が対象なので高校生と接する機会は少ないが、朝の通学指導に立つ方からは、高校生の挨拶が素晴らしく、声をかけると反応も良いと聞く。

(委員B)

尿検査や心臓検診後の受診率も低いのか。

(保健部主任)

受診率が低い項目は、歯科検診と視力検査である。

(委員B)

大学では近年健康診断の検査項目が減ってきており、健康異常に気付かずに卒業していく学生もいる。

(委員D)

部活動入部率が92.3%とあるが、これは1年生だけなのか。また、平日の部活動終了時間は決まっているのか。

(1学年主任)

1年生だけであり、全学年の入部率は77.3%である。また、平日の部活動は18時半終了となっている。

(委員A)

中学校でも若い生徒、叱られ慣れていない生徒が増えてきており、対応に困ることがある。高校ではどうか。

(1学年主任)

数学の授業を担当しているが、座席を自由にし、お互い教え合いながら学ぶスタイルをとっている。生徒に寄り添う姿勢を大切にし、指導の仕方も工夫している。また、指導後のフォローが大切だと考えている。

(委員D)

子ども民生委員として頑張っている1年生(伊集院中出身)もいる。地域のゴミ拾いや高齢者の自宅訪問などやってくれ、ありがたい。ぜひ活動の輪を広げてほしい。

(委員A)

高校授業料無償化もあり,私立高校の希望者が増えている。公立高校ならではの魅力を発信し,自信をもって広報活動を進めてほしい。

(委員C)

体育祭で校歌を歌う3年生の姿をみて,さすがだなと思った。地元には高校があるのはありがたい。遠方の高校だと通学に時間がかかり,睡眠時間が削られる。地元だからこそその良さもある。伊集院高校に入学させて良かったと思っている。

(委員D)

民生委員は小中学生との交流はあるが,高校生との交流が少ない。できる限り高校の学校行事に参加し,高校生を知る機会を増やしたい。

(委員B)

DXハイスクールの採択校決定に大きな魅力を感じる。中学生を呼び込めるきっかけになるとよいので,積極的に広報活動を行ってほしい。